

現代民俗学会第21回運営委員会

【日時】：2012年4月14日(土) 午前10時00分

【場所】：東京大学東洋文化研究所第2会議室

【出席者】：石本敏也、及川高、小熊誠、門田岳久、菅豊、武井基晃、塚原伸治、徳丸亞木、中野泰、古家信平、渡部圭一

一. 編集委員会 (徳丸委員、渡部委員、塚原委員)

(1) 会誌4号の編集

編集のスケジュールに遅れないことが報告された。総ページは134頁となった。

(2) 会誌5号の募集と誌面レイアウトの改正

5月末日を締切に会誌5号のエントリーが始まっている。

これに関連して誌面レイアウトの改正が提案され、次の通りメール審議(3/30)で承認された。

DTP外注化とそれに伴う使用フォントの変更により、誌面レイアウトの検討の必要が生じた。イセブからサンプルの提供をうけて検討した結果、マージン(上下左右の余白)をやや広げた上で、可能な限り誌面の節約を図ることを目的として、1頁の行数を増やす(43字×39行から43字×40行へ)。この改正は次号(5号)から適用する。

二. 研究企画委員会 (菅委員)

(1) 今後の研究会について

7月の研究会「海外研究者がみた日本というフィールド～アメリカ研究者編～(仮)」(日本民俗学会談話会等との共催)について報告された。

三. 年次大会関連 (研究企画委員会 門田委員、総務委員会 武井委員、選挙管理委員会 徳丸委員)

(1) シンポジウム

「民俗学的(技法)の構築を目指して—方法としてのナラティブ」(登壇者:足立重和氏、法橋量氏、門田岳久氏)について、コーディネーターの岩本通弥氏の科研との共催が承認された。

(2) 個人発表

査読委員会より、下記の3人の発表決定が報告された。

発表順	氏名	所属	表題
発表①	中里亮平	長野大学 非常勤講師	現代社会における「地域」の概念に関する考察
発表②	東城義則	総合研究大学院大学 文化科学研究科	鹿を寄せ集める技法—「鹿寄せ」の担い手と鹿との関係をめぐって—
発表③	林圭史	筑波大学 人文社会科学 研究科支援室	対立が育てる地区の行事(仮)

(3) プログラム案

年会当日のプログラムが提案され、下記の通り承認された。

時間	発表・総会・シンポジウム	選 挙
9 : 30	受け付け開始	投票開始
10 : 00	発表①	
10 : 30	発表②	
11 : 00	発表③	
11 : 30	総会	(監査選出)
12 : 30	休憩	
13 : 30	シンポジウム開始	
15 : 00 頃	シンポジウム休憩	
15 : 20	シンポジウム再開	投票終了・開票開始
17 : 00	シンポジウム終了	開票結果報告
	閉会	選出者により第22回運営委員会(会長選出、次回第23回運営委員会の日程調整)
	懇親会へ	

(4) 運営委員選挙

3月23日付で選挙に関する公示が行われたことが報告された(当会サイト参照)。有権者名簿の確定は4月末日時点の会費振り込みまでとする。

四. 新入会員承認(武井委員)

五. 会計報告(石本委員)

3月31日現在の会計報告がなされた。監査資料の作成に当たり、会費収入内訳として会員数を挙げる場合は、期間内に実際に支払われた会費に応じた延べ人数にしなければならないことが指摘された。

六. 次年度予算案

前回運営委員会にて各委員会から提案された次年度予算案について審議され承認された。この予算案は、年次大会の会員総会へ諮る。

七. 『福田アジオを乗り越える』の出版に関して(菅委員)

第6回現代民俗学会研究会(2010.7.31)の内容を岩田書院から菅・塚原編で刊行することが報告された。冊数は未定だが寄贈分は当会研究会などで販売する。